

小ギク栽培情報

令和3年産

第9号(10月号)

7、8月咲き品種の親株の移植は済んでいますでしょうか？移植が遅れると気温の低下により冬至芽が少なくなり、来春の挿し穂数が予定通りに得られなくなります。まだの方はできるだけ早く移植するようにしてください。特に、親株を露地で管理される場合は至急作業を行ってください。

さて、今号では、夏小ギクの親株および12月咲き小ギクの管理についてお知らせします。

【7、8月咲き品種の親株の管理】

1. 来春に向けて残す株数

すでに移植された方もおられるとは思いますが、以下の空欄を埋めて、必要な親株数を確保できているか確認をお願いします。

○定植面積 1 a あたり1,500 本程度の挿し穂が必要

⇒来年の栽培予定面積 【 】 a …①

⇒来春に必要な挿し穂数 $1,500 \times \text{①} =$ 【 】 本 …②

○親株1株からとれる挿し穂本数 = 10本

⇒秋に残す株数 $\text{②} \div 10 =$ 株

※実際には、1株から10~20本の挿し穂が採れますが、優良な(揃った)穂を選別して挿し芽していただきたいので、今回は1株当たり10本で計算しています。

※露地で管理する場合はこの2倍程度の株数を残すようにしてください。

2. 病害虫の防除

アブラムシ・白さび病・菌核病の発生に注意しましょう！

- ・9~10月咲き品種の収穫出荷や稲刈り等で、どうしても収穫が終了している7、8月咲き品種の親株ほ場を観察する時間が減少しがちです。
- ・これからは気温が低下し、病害虫の発生も少なくなっていく時期ではありますが、防除を怠ると病害虫が蔓延してしまうこともあります。月に1~2回は必ず防除を行ってください。



写真：菌核病

3. 温度管理および水管理

- ・親株はある程度（年内いっぱいくらい）は低温に当たらないと春の芽立ちが悪くなり、また、低温に遭わないと開花が揃いにくくなります。親株をハウスで管理される方も年内はサイドを開放し低温に当てるようにしてください。
- ・極端に乾かすと新芽の伸長、芽吹きともに悪くなります。また、過湿は根腐れになりやすく、菌核病や白さび病の発生を助長します。水管理はこまめに行ってください。

【12月咲き小ギク(寒小ギク)の管理】

1. 病害虫の防除

ヨトウ類・オオタバコガ・アザミウマ類・白さび病・菌核病の発生に注意しましょう！

- ・巡回の中で、ヨトウムシ等チョウ目害虫が発生しているほ場が散見されます。ハウス内を観察し、発生を認めた場合は直ちに防除を行ってください。
- ・白さび病についても、定期的な予防散布をしっかりと実施してください。



写真：チョウ目幼虫

2. 温度管理および水管理

- ・寒小ギクは高温で花芽分化と発達が抑制されます。11月中旬までは終日ハウスを開放し、特に晴天日の日中は換気に努めてください。
- ・中輪ギク「岩の白扇」後に少量土壌培地耕で寒小ギクを栽培されている方は、10月下旬以降は給液を控えめにしてください。「岩の白扇」と同じ設定のままでは培土が過湿になります。ポンプの圧力等が異なりますので一概には言えませんが、1日の給液回数を2～3回にし、午後2時まではその日の給液が終わる設定にしてください。

表 10月下旬～11月中旬の防除ローテーションの例（寒小ギク）

（令和3年9月29日時点での登録のもの）

時期	対象病害虫	薬剤名	使用量・倍率	回数	RACコード
10月下旬	さび病	ジマンダイセン水和剤	400～600倍	8回	F:M3
	ヨトウムシ類	ノーモルト乳剤	2,000倍	2回	I:15
	アブラムシ類 アザミウマ類	モスピラン顆粒水溶剤	2,000～4,000倍 2,000倍	5回	I:4A
11月上旬	白さび病 褐斑病 黒斑病	ダコニール1000	1,000倍	6回	F:M5
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 オオタバコガ	アフアーム乳剤	1,000～2,000倍 1,000倍 1,000倍 1,000倍	5回	I:6
11月中旬	白さび病 アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	ハチハチ乳剤	1,000倍	4回	I:21A F:39
★病害虫発生時 （発生を確認した病害虫に合わせて、右欄の剤を追加散布してください。）	うどんこ病 白さび病 灰色かび病	アフエットフロアブル	2,000倍	3回	F:7
	褐斑病 黒斑病 白さび病	ベンレート水和剤	2,000～3,000倍 2,000～3,000倍 1,000倍	6回	F:1
	菌核病 褐斑病	トップジンM水和剤	1,500倍 1,500～2,000倍	5回	F:1
	アザミウマ類 ハダニ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ	グレーシア乳剤	2,000倍	2回	I:30
	アブラムシ類 コナジラミ類	コルト顆粒水和剤	4,000倍	4回	I:9B
	アワダチソウゲンバイ ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ハダニ類 オオタバコガ ヨトウムシ類	コテツフロアブル	2,000倍	2回	I:13
	ハダニ類	カネマイトフロアブル	1,000～1,500倍	1回	I:20B
	アザミウマ類 ハダニ類	アグリメック	500倍	5回	I:6

※農薬の使用に当たっては、必ず薬剤容器ラベルの記載事項を確認し、適正に使用してください。